

《講題》

臨床動作法の実践からみえる「からだ」「こころ」「いのち」

《業績》

- 2019 Arugamama in Dohsa-hou Method, Bulletin of Institute of Buddhist Cultural Studies,
Gifu Shotokugakuen University ,19 ,pp.75-91
- 2018 動作療法療育キャンプにおける障害児の兄弟姉妹に関する検討,岐阜聖徳学園大学教育実践科学研究センタ
ー紀要,17,pp.313-320,
- 2012 健康動作法教室の試みー地域在住者への動作法による健康支援ー ,臨床動作学研究,16,pp.15-26
- 2012 場面緘黙症児のこぼ・からだ,愛知淑徳大学論集,心理学部編 2,pp.37-47
- 2007 糖尿病を発症している知的障害者への動作法の適用ー生活動作の変容と浮腫の快方を通してー
リハビリテーション心理学研究 33-2,pp.1-12
- 2005 Development of Psycho-Rehabilitation in China(Country report),Saudi J. Disabil Rehabil,11,
pp95-99 (共著) B.Kono, K.Ikeda, H.Morisaki
- 2003 動作法による教師のストレス・マネジメント,臨床動作学研究, 7 ,pp.23-31

《プロフィール》

河野文光 (Bunko Kono こうの ぶんこう) 愛知県在住 1948年 長野県生

【職歴】

岐阜聖徳学園大学 教育学部 特別支援教育専修 教授

臨済宗妙心寺派 福聚寺 (愛知県) 住職

福聚寺相談室 室長

東海・北陸心理リハビリテーション研究会 会長

前愛知県臨床心理士会理事

【略歴】

花園大学文学部仏教学科卒

愛知教育大学大学院 教育学研究科修了 修士（教育学）

吉備国際大学大学院 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 博士課程修了 博士（臨床心理学）

【所属学会】

日本心理臨床学会 日本特殊教育学会 日本リハビリテーション心理学会 日本臨床動作学会

東海心理学会

【著書】

2018 からだ,こころ,いのち —動作法と禅からの見方— (共著) 成瀬悟策,玄侑宗久,河野文光,

金剛出版

2013 動作で「わかる」 —心理臨床の援助過程— (単著) 公益財団法人 禅文化研究所

1991 いつか一緒にあるこうね —障害児をもつ親の手記— (編著) コレール社